

アートが紡ぐ場と時の創造

KSU アート in キャンパス 2025



2025 12/9 火 ▶ 12/26 金

九州産業大学 北門から 17号館周辺



12/9 火 - 12/26 金 9:00-18:00

写真展

人間と環境 vol.VIII

芸術学部写真・映像メディア学科写真専攻2、3年生が、「人間と環境」を取り組んだ作品展、年末恒例の第8弾。

場所：15号館、17号館 1～2階各所

企画担当：大日方欣一、荒巻大樹

(芸術学部写真・映像メディア学科)

12/22 火 - 12/23 火 18:00-20:00

プロジェクションマッピング

Lantopia | Wonder Xmas Projection 2025

キャンドルやクリスマスマーケットをモチーフに、絵本の世界へ入り込んだような幻想的な雰囲気を、8台のプロジェクターによる映像で空間全体に表現します。

場所：北門 楠風広場 ※ 雨天・荒天時は中止

企画担当：岩田敦之（芸術学部ソーシャルデザイン学科）

12/26 金 公演 19:00-20:30 開場 18:30

サウンド・アート・パフォーマンス

“Sein < > Ruhe”（ザイン <> ルーエ）

『存在 < > 静寂（しじま）』

芸術学部講師陣によるサウンド・アート・パフォーマンス公演。“Sein”は存在、“Ruhe”は静寂（しじま）を意味する。その間に記された、ふたつの向き合った不等号の中間が意味するものは何か。音の存在と不在は、同義でもあり対極でもある。ふりかえればそれらの間（はざま）にこそ、サウンドが生まれ、私たちの感情や魂を揺さぶるきっかけとなり、同時に深遠な秘密の扉となるのだろう。メディアアート、ピアノ演奏、電子音楽、映像インスタレーション、実験映像を制作しつづけるアーティスト達の、一夜限りのサウンド・パフォーマンス公演。

場所：15号館学生ギャラリー（円形ギャラリー）

企画担当：黒岩俊哉（芸術学部芸術表現学科）

出演者：

坂本豊（メディアアーティスト：電子音楽家）

長野光宏（映像インスタレーション：メディア・サウンドアーティスト）

西岡怜奈（ピアニスト：芸術学部非常勤講師）

黒岩俊哉（実験映像作家）

アートには、作品と観客が出会う「場所」があります。「場所」は作品を変え、観客や作者に新しい創造の機会を与えます。また、場所によって紡がれた作品・観客・作家の糸は、その瞬間や状況によって、その時だけの唯一の意味を生み出します。「KSU アート in キャンパス 2025」は、映像や写真、プロジェクションマッピングなど、特別な「場」と「時」を大学キャンパスに創造する試みです。ぜひお越しください。

お問い合わせ：九州産業大学 芸術学部／アート & デザイン研究センター（CADS） Tel 092-673-5317

